

## 令和4年度大田区高齢者等実態調査結果の概要について

### 1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

区内の高齢者におけるフレイル・介護予防に向けた取組み、介護サービス等の利用に関する意向を把握するほか、介護サービス事業所等における自立支援に向けた取組みについて把握するための調査を行い、次期「おおた高齢者施策推進プラン～大田区高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」策定のための基礎資料とするため実施をした。

#### (2) 調査対象・調査票発送数

以下の①～③の区民向け調査(10,100件)と④の介護サービス事業所等調査(577件)及び⑤地域包括支援センター調査(23件)の合計10,700件を対象とし実施。また、郵送による調査とは別に、地域包括支援センター職員による未把握一人暮らし高齢者等訪問調査を実施した。

調査名	発送数	対象者
① 高齢者一般調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を含む)【対象65～90歳】	5,600	・元気高齢者 ・要支援1・2 ・事業対象者
② 要介護認定者調査 (在宅介護実態調査を含む) 【対象65～90歳】	3,200	・在宅で生活する要介護1～5の認定者及びその介護者
③ 第2号被保険者調査 【対象55～64歳】	1,300	・認定を受けていない被保険者
④ 介護サービス事業者調査	577	・区内介護サービス事業者
⑤ 地域包括支援センター調査	23	・区内の全地域包括支援センター

#### (3) 調査期間

令和4年11月11日(金)から令和4年12月9日(金)まで

#### (4) 調査方法

郵送により調査票を発送する。回答は郵送による返送または、東京共同電子申請・届出サービスを使用した電子申請(パソコン、スマートフォン)

による回答とした。

#### (5) 回収結果

調査種別	回収件数			回収率 (見込み)
	郵送	電子申請	合計	
① 高齢者一般	3,833 件	196 件	4,029 件	72.1%
② 要介護認定者	1,669 件	77 件	1,746 件	54.6%
③ 第2号被保険者	590 件	132 件	722 件	55.7%
④ 介護サービス事業者	250 件	172 件	422 件	73.6%
⑤ 地域包括支援センター	23 件	-	23 件	100%

#### (参考) 前回(令和元年度)回収結果

調査種別	回収件数	回収率
① 高齢者一般	4,047 件	72.3%
② 要介護認定者	1,645 件	51.4%
③ 第2号被保険者	599 件	59.9%
④ 介護サービス事業者 (地域包括支援センター調査を含む)	495 件	82.5%

## 2 調査の視点

高齢者一般調査および要介護認定者調査に当たっては、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」の設問項目を基本とし、18 日常生活圏域における「地域づくり」「高齢者の適切な在宅生活の継続」および「家族介護者の就労継続」などの実現などの視点を持ち実施をした。

また、第9期事業計画期間において迎える2025年に向けた地域包括ケアシステムの更なる深化・推進と大田区版地域共生社会への視点、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年のまちづくりを見据え、第9期事業計画策定に資するものとなるよう、今後の調査報告書の作成および分析を行う。

### 3 調査報告書の構成(案)

#### 1 介護予防・重度化防止の取組

##### 【課題】

- 1 ○○○○
- 2 ○○○○

##### 【分析】

サービスを利用していない理由をみると「4. サービスを知らなかったから」と回答した人は最も多く、全体の○%となっています。

次いで、「5. 自分がサービスを受けられるかわからない」と回答した人が○%と、サービス利用の意向はあっても実際に申請に行き届いていない人が多くいることがうかがえます。

(表) サービスを利用していない理由の調査結果



##### 【考察】

--